

***** The Future We Want

Name : 濱口 晃穂 Age : 11 Date : 2012/6/4 スピーチ Ver

セヴァン・カリス = スズキが、「地球サミット」で伝説のスピーチをしてから 20年がたちました。

セヴァンが訴えたこと……砂漠化は今もなお進み、南極上空には新たにオゾンホールが見つかり、ストリートチルドレンや難民、スラム街の人々は、今も生活の余裕を少しも持ってません。教科書に出てくる 20年前ほどの写真と比べたら、みなさんの努力で少しは改善されていると思いますが、大きな進展はありません。

みなさんの耳に、20年前のセヴァンの訴えは、届いているのでしょうか？ もし薄れてしまっているのなら、私たちが 20年前のセヴァンに代わり、訴えます。

みなさんに限らず、全ての大人が、私たちの世代に社会を明け渡すでしょう。その日まで、社会というバトンは、みなさんが持っている。今、みなさんがどれだけ今の環境問題を解決できるかで、私たちのスタートラインが決まります。たくさん解決できれば、それだけ私たちは良い場所から、少ししか解決できなければ、

***** The Future We Want

それだけ悪い場所から、"The Future We Want" に向かって走り出さなくてはなりません。私たちが走り出す位置が悪ければ、私たちの子供、孫、ひ孫の世代にまで悪影響をおよぼすかも知れないのです。ですから、今まで以上に真剣に、この問題と向き合ってください。私たちがその子孫の未来もかかっているのです。

私たちは子供です。子供なので、社会的な力も、財力もなく、1人では大規模なことはできません。でも、身近なところでなら、エコはできます。クーラーをやめてせん風機にする、紙は広告の裏や再生紙を使う、食べ残しを少なくして焼却時のCO₂を減らすなど、できることはいろいろあるはず"です。私もなるべく心がけています。それに、1人では無理でも、大人数でやれば、規模の大きなエコもできます。また、植林などの募金を、おこづかいから出すといった間接的なこともできます。

一方、大人は社会的な力も、大きな財力も持っています。子供でもできるような規模のエコはもちろん、団結すれば、地球規模の活動も可能です。

ですから、地球を守ろうとする意志を世界中の人が分か

***** The Future We Want

ち合い、協力すれば、きっと地球はすばらしい星になる
でしょう。

私は、他の人が「望んでいる未来がどんなものか
知りたくて、大人子供や男女を問わず、何人かの人に聞いて
みました。こうすることで少しでも「The Future We Want」
に近づければ良いと思ったからです。いちばん多かったのは、
「貧困や飢えにみなか悩まされない未来」、「戦争や争い事もなく、もし
あってもすぐ解決できる未来」、「生物と共存し、共栄する未来」でした。
大人の中には、「自分の子供が、「地球に生まれてきてよかった」
と思える未来」と答えた人もいました。みな地球の、ポジティブな
物語を描く未来を心から望んでいます。

たった一つの地球。私たちの「いのちの星」です。

かけがえのない私たちの地球を、死の星にはしたくない。

私たちは思います。

この地球という星に、戦争、貧困、飢え、生物の絶滅、
資源の枯渇……これらすべての「環境問題」のない、
明るい理想の未来を築きたい。私たちは痛切に願います。

